



この会報の愛称「アイム」は、鹿児島商工会議所ビルの愛称と同じです。自己紹介の言葉「I・m・・」は、出会の始まりです。「I」にはインフォメーション・インテリジェント、mにはメトロポリス・ミートの意が込められています。

contents

- 2 | **第16回産業経済賞 優秀賞受賞企業紹介**  
有限会社 鹿北製油
- 3 | **優秀賞に(有)藤乃家製菓と(株)下堂園**  
～第8回 鹿児島県観光土産品コンクール～
- 4 | **講演録 九州新幹線全線開業で鹿児島が勝ち残るために**  
九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長 唐池 恒二 氏
- 6 | **会員さんクローズアップ**  
(有)美容室 大山悟 代表取締役 大山 悟 氏
- 7 | **'10 TALK**  
JR九州ビルマネジメント株式会社 鹿児島営業センター長 園田 裕二 氏
- 8 | **観光と特産品の情報ステーション 写真コンテストに9作品が入賞**  
テーマは「鹿児島路面電車の見える風景」
- 9 | **平成22年度 事業計画・予算決まる**  
活力ある地域経済の実現と地域に求められる商工会議所をめざして
- 12 | **商工会議所のヒミツ(マル経融資のご案内)**
- 13 | **フォトニュース**  
かごしま商人塾 / 鹿児島商工会議所青年部 笑福祭 / 事業承継セミナー /かごしま特産品まつり  
鹿児島ビジネス市場 / かごしまアントレフォーラム2010
- 16 | **部会活動報告**  
工業部会 / 特産品部会
- 17 | **インフォメーション**
- 20 | **新入会員紹介**

— 今月の表紙 —

かごしま歴史紀行

長崎大学環境科学部准教授 深見 聡



所在地  
集成館旧機械工場(鹿児島市吉野町)

2009年1月、本建物をふくむ「九州・山口の近代化産業遺産群」が世界文化遺産の暫定リスト入りを果たした。非西洋地域における本格的な近代化事業が展開されたこの地は、鎖国の時代から琉球や中国からいち早く西欧列強の情報が伝わり、在来技術と融合した技術移入が試みられたのである。

集成館事業は、11代藩主島津斉彬が1858(安政5)年に急逝したのち縮小され、さらに1863(文久3)年旧暦7月の薩英戦争では砲撃により壊滅的な被害を被った。しかし、このことは逆に薩摩藩に西洋技術導入の必要性を痛感させることとなった。

次代の忠義は、同年10月にいち早く集成館の復興に着手し、1865(慶応元)年にそのシンボリック的存在となる機械工場が竣工した。石造の洋風建築として日本初のアーチが施されるなど、石橋築造の在来技術をもとに日本人の手で造られた、現存する県内最古の石造建築物でもある。

廃藩置県後は、陸軍省の大砲製造所や西南戦争時の薩軍による占拠、民間払い下げなどの変遷をへて、明治30年代から磯島津家集成館と称して鉾山用機械の製造をおこなっていた。1915(大正4)年に約50年の工場としての役割を終え、1923年5月から博物館(尚古集成館)となる。10分の1サイズに再現された反射炉模型などが展示され、集成館事業の実像を体感できる。

# 第16回鹿児島商工会議所産業経済賞



## 有限会社 鹿北製油

始良郡湧水町米永

当商工会議所の第16回鹿児島商工会議所産業経済賞の優秀賞に、有限会社鹿北製油(始良郡湧水町米永、和田久輝代表取締役社長)が選ばれた。同社は昭和59年から国産原料による食用油の製造を行い、消費者に好評を得ている。また、契約栽培を通じて白ごまを喜界島の特産品にまで育て上げるなど地域経済への貢献も大きい。同社がこれまでにやってきた取り組みや今後の展開などを紹介する。

鹿北製油は昭和24年、菜種油専門の搾取工場として和田久輝現社長の父、輝氏が創業した。

和田社長が入社した昭和59年当時は、安価な外国産原料が市場を席巻していた大量生産時代。「このままでは生き残るのは難しい」と考えた和田社長は大手メーカーとの差別化を図るために、より安全・

安心で風味も良い国産原料を使用することを決意した。

この決断には、契約栽培によって国内の自給率を上げることと、かつて菜種生産量日本一を誇った鹿児島島の遊休農地を活性化させる目的もあったという。

また、絶えて久しかった「石臼式玉締め製法」を復活させ、手搾りによる昔ながらの食用油の製造にも着手した。この石臼を使って製造しているのは、今では全国にわずか4工場しかないそうだ。

現在、同社が契約している農家は鹿児島を中心に九州各県に広がり、その数は約850件。今でこそ農家の方から「作ってみたい」という要望が出るようになったが、国内産に方向転換した当時の反応は冷やかだったという。それでも、和田社長の地道な取り組みと真摯な姿勢が少しずつ理解されるようになり、それにもなつて契約戸数も増えていった。



和田 久輝  
代表取締役社長

昭和36年 菱刈町(現伊佐市)生まれ  
昭和59年 鹿児島経済大学(現鹿児島国際大学)卒業  
鹿北製油入社  
平成 4年 代表取締役社長に就任  
平成21年 地域特産物(製油)マイスターに認定(農林水産省)



ごま油だけでなく、ねりごまやラー油などさまざまな商品を開発・販売している。



収穫時期を迎えたごま畑。契約農家は九州各県で約850件にもものぼる。

特に喜界島のごま生産量は当初200キロしかなかったが、平成20年には約60トンにまで大幅に増加。契約農家も10件から300件へと飛躍的に増えた。今ではごまは喜界島の特産品となっており、和田社長が地域経済へ果たした貢献は非常に大きいといえる。

地域活性化のために食の基本を追求する

現在、同社の70種類にもものぼる商品は沖縄から北海道まで全国で取り引きされており、消費者の安心・安全志向ともマッチしてさらに販売網を拡大している。

今後はごまを使ったサプリメント(栄養補助食品)や、安心して食べられるペトフードの開発も計画しているという。

「目先の利益にとらわれず、20年、30年といった長いスパンでやっていければ。そしていざればヨーロッパや東南アジアにも輸出したいと考えています」

農工商連携が叫ばれて久しいが、そのような言葉がない時代から積極的に地域活性化に取り組んできたという自負が和田社長にはある。「安心して食べられるのが食の基本ですから」と熱く語るその瞳は、まっすぐ未来を見据えていた。

### ◎ 会社概要

会社名: 有限会社 鹿北製油  
所在地: 鹿児島県始良郡湧水町米永3122-1  
代表者: 代表取締役 和田久輝  
設立: 昭和24年4月1日  
資本金: 300万円  
従業員: 13名  
事業内容: 菜種・ごまなどを中心とした加工品の製造・販売

# 優秀賞に(有)藤乃家製菓と(株)下堂園

## 第8回鹿児島県新作観光土産品コンクール

～応募点数は過去最高101点～

鹿児島県観光土産品公正取引協議会・鹿児島県商工会議所連合会・鹿児島商工会議所が主催する「鹿児島県新作観光土産品コンクール」の審査会が、2月19日に当商工会議所で行われた。

本コンクールは、観光土産品の品質、デザイン並びに表示内容の向上と多様なニーズに対応した商品づくりを促進し、企業の商品開発の意欲を高めることなどを目的として、平成7年度から隔年開催しており、今年度で8回目を数える。

今回は、菓子部門34点、加工食品部門67点の合計101点の応募があった。従来のコンクールでは、菓子や漬物等の出品が多かったが、「黒豚」や「カンパチ」などの畜産物や水産物を原材料にした加工食品の出品が多数見られた。

当日は、関係機関、流通業者、消費者などからなる審査員7名が、素材や独創性、市場性など5項目にわたって審査を行い、優秀賞2点、奨励賞4点が決定した。

また、3月8日には、入賞企業に対し、鹿児島商工会議所の諏訪秀治会頭、鹿児島県観光土産品公正取引協議会の玉川哲生会長が出席し、表彰式が行われ、賞状等が授与された。

### 加工食品部門

### 優秀賞

### 菓子部門



『生姜紅茶』  
(株)下堂園(鹿児島市)

自家農園産(南九州市)の有機紅茶と粉末にした無農薬生姜を原材料とした100%オーガニック紅茶。



『素芋甘芋』  
(有)藤乃家製菓(鹿児島市)

種子島産安納芋にマスカルポーネチーズと柑橘系洋酒を加えた商品。濃厚でいて、後味のすっきりしたスイートポテト。

### 加工食品部門

### 奨励賞

### 菓子部門



『鹿児島黒豚 太鼓巻き』  
(株)ビッグファイブ(鹿児島市)

伊佐産のヒノヒカリを鹿児島産黒豚で肉巻きにしたもの。夕れにも県内産の醤油を使い、鹿児島の食材にこだわった商品。



『じゃっせん』  
(有)つたや(薩摩川内市)

生クリームと蜂蜜を加え、こんがり焼き上げた生地に、甑島産さつま芋の餡を入れた焼き菓子。



『芋娘三姉妹 3本セット』  
東酒造(株)(鹿児島市)

黄金千貫、紅芋、紫芋を使い、風味の違う焼酎3本を1セットにまとめた商品。商品名やラベルにも工夫を凝らしている。



『さつまのかりんとまん』  
(有)徳重製菓とらや(霧島市)

黒糖を使用した饅頭を油で揚げ、かりんとう風に仕上げた菓子。あんこには高級小豆を使用している。

九州旅客鉄道(株) 代表取締役社長

唐池 恒二 氏

# 全線開業で鹿児島が 勝ち残るために

鹿児島商工会議所産業経済政策委員会は3月10日、九州旅客鉄道(株)の唐池代表取締役社長を講師に招き、「九州新幹線全線開業～どうなる鹿児島」と題した講演会を開催した。要旨は以下の通り。



## 九州新幹線鹿児島ルート 第一期開業について

平成に入ってから、日本各地で整備新幹線4つが開業しています。

長野、山形、秋田、そして八戸まで伸びた東北新幹線。この4箇所のお客様の伸び率を比較しますと、オリンピックがあつたので、ちよつと比較しにくいですが長野が開業前の1.3倍、山形・秋田が1.5倍、そして八戸も1.5倍です。

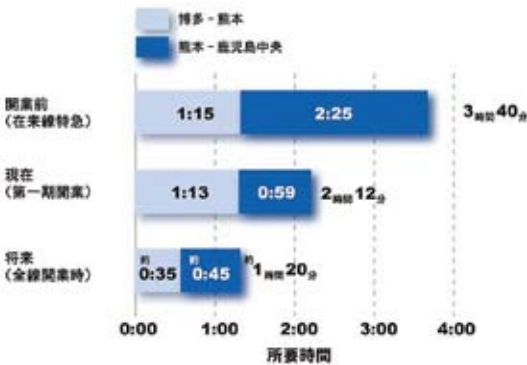
私も、その4つを踏まえて、九州新幹線部分開業の伸び率を1.5倍と想定して、何とか頑張ろうと思つていましたら、2.3倍という他の新幹線に負けない大変な伸びを示しました。

それを期に、全国各地で、それまで多少沈滞していた新幹線建設ブームが、高らかに声を上げるようになりました。私は、この鹿児島ルートの成功が、各地に影響したと思つております。

## 山陽新幹線との相互直通運転について



## 鹿児島ルート開業前後の到達時分(最速)の比較



特に西日本から見ると、大阪でも広島でも岡山でも、彼らが旅行しようとする時は、今までほとんど東しか向いていません。その何割かが、

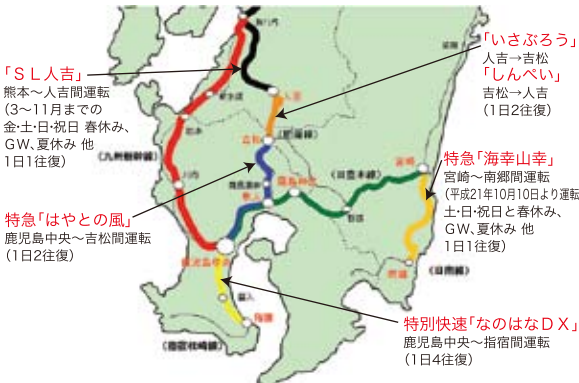
さらに、福岡まで1時間20分になるということ、皆さん方ももうご存知だと思えます。これがどういふことかと言いますと、旅行しようという距離ではなくなるといふことです。要するに、日常生活圏に入るといふことです。そして、東京、大阪に直接つながるといふこと。この2つが大きい変化だと思えます。

そして、1年後に迫っております鹿児島ルート全線開業。1年後の鹿児島中央駅のホームに立っていただきますと、ホームには必ず「新大阪行き」といふ新幹線「さくら」が発車標に出ます。それがほしい1時間に1本きます。

## 全線開業がもたらす変化

この部分開業は、それだけ成功させていたのだということになります。

## 九州新幹線と観光列車とのネットワーク



私も実際に乗ってみて感じたことですが、沿線の方、畑仕事をやっている方、球磨川沿いを運転している方、沿

この「SL人吉」のいいところは、指定席が1ヶ月前の発売日に、10秒で全席完売しました。

例を挙げると、「SL人吉」という列車を熊本～人吉、去年の4月26日から走らせています。これは大変な人気で、今シーズンも3月6日からスタートしてありますが、3月6日の指定席が1ヶ月前の発売日に、10秒で全席完売しました。

## 新幹線による九州活性化

福岡から熊本、鹿児島だけの新幹線開業効果だけではなく、九州全土にその効果を広げようということ、縦軸以外の面でも、この新幹線効果、九州の活性化というものを考えております。



## 【プロフィール】

からいけ こうじ さん

昭和28年生まれ。57歳。京都大学法学部卒。日本国有鉄道入社後、ジェイアール九州フードサービス(株)社長、九州旅客鉄道(株)総合企画本部経営企画部長、旅行事業本部長、常務取締役総合企画本部副本部長兼同経営企画部長、代表取締役専務兼総合企画本部長を経て、2009年6月同社代表取締役社長に就任。

線の商店や沿線にお住まいの方が手を振ってくれるところ。この風景は、たぶん他にはない最高の風景だと思います。

もう1箇所は、宮崎の「海幸山幸」という列車を、去年の10月から走らせています。これも沿線の方が手を振ってくれます。これほど素敵なおもてなしに満ちた景色はないように思います。

## アジアからの観光客を

## 囲い込むために

今から2年程前、まだリーマンショックの前ですから元気なころです。アジアからたくさんの方がやってきていました。

大宰府天満宮の本殿の前に1000人位の人だかりができていました。その1000人の顔ぶれやしやべり方を聞いていると驚くことに9割が韓国の人でした。

その1週間後に、熊本城に行きました。やっぱり天守閣の前の広場に1000人位いました。その8割がアジアの人です。台湾、香港の人

もいましたが、韓国の人が一番多かったようです。

今でも、湯布院の湯の坪街道などを歩きますと、道行く人の8割が韓国人です。

アジアから九州にやって来る人は、毎年だいたい80万人。多い時で90万人。去年は70万人でした。いろいろな施設がお金をかけて、九州に住む1、300万人の人に向けて宣伝しているにも関わらず、全然宣伝してない80万人のアジアの人が、大宰府や熊本城、湯布院に来ます。

「九州に何を目的に来られますか」というアジアの人に向けたアンケートがあります。結果は、1番が日本料理。2番が温泉。3番が日本の文化を体験したい、という順番になります。アジアの人が来たいベスト3に日本の和の文化が入るといふことです。アジアの方は、和の文化そのものに浸りたいわけです。和の文化こそが日本にしかない、ということを理解するべきです。

## 鹿児島が勝ち抜くために

リーマンショック以降、アジアからの観光客が急速に減少しました。

この1年間半、韓国人の人は、ヨーロッパや香港、台湾に行っていました。やつとこの2か月前から、韓国人の人は、また日本に戻ってきました。

そう考えると、博多駅ビルができませんけど、ライバルは天神ではありません。天神も一緒に頑張って共闘しないといけないのです。博多と天神だけじゃなく福岡と熊本、福岡と北九州、久留米、もちろん鹿児島、阿蘇も含めて、九州全部で戦わないと負けません。ライバルは東京、京都、大阪、北海道です。

まず日本に来てもらうということが大事です。これは日本も一致団結して頑張らないといけない。そうではないと、香港とソウルと上海と台北に観光客を取られてしまいます。あるいはタイ、バンコクに取られてしまいます。まず、アジアの各国の中で勝ち抜かないといけません。

## 魅力あるまちづくりには「歩く楽しさ」

まちづくりは、訪れる人が楽しいだけでは物足りません。住んでよし、訪れてよし、働いてよし。この三拍子揃ったまちにならないといけません。究極の観光は定住です。定住人口を増やすためには交流人口を増やすことから始めて、最終的には、住む人も楽しいようなまちづくりでないといけない。住む人が楽しいまちは、やっぱり歩いて楽しいまちは、歩く楽しさというのが大切になってきます。

## キーワードは「わ・あ・や・あ」

新幹線の終着駅はこれまで必ず発展してきました。鹿児島には、ホスピタリティと豊富な観光資源など観光振興を図るうえで、要素は十分に揃っていると思っております。

物足りないのは、地域の共同体意識だと思います。自分達の地域を自分達でつくりあげようとする意識が低いように思われます。具体的に言うとうと街並みです。鹿児島の歩道は清掃が行き届いておらず、きれいであるとは言えません。

今後は、自分達の住んでいる地域を見つめなおすことも必要ではないかと思えます。

また、観光振興・街づくりを図っていくうえで、キーワードは「わ・あ・や・あ」です。

「わ」は和。日本の文化をアピールし、国外からの観光客増加に努めることが大切です。

「あ」は歩くの「あ」。町並みを歩くことが楽しめる街をつくる必要があります。

「や」はやっぱりの「や」。観光客に受け入れられる観光地・素材がやっぱり必要です。

「あ」はアジアの「あ」。アジアからの誘客は率先して取り組む必要があります。

これらを活用し、鹿児島は九州新幹線全線開業の効果を最大限に享受し、経済浮揚を図ることが求められます。

## 会員さんクローズアップ



(有)美容室 大山悟  
大山 悟 代表取締役

高い技術と行き届いたサービスから男女問わず多くの固定客を獲得されている美容室大山悟。代表取締役の大山悟氏は、「美容の仕事を通じて、鹿児島を盛り上げていきたい」と話し、地域との結びつきの重要性を語った。

**お客様にあたたかい気持ちになって欲しい**

事業内容は、美容室一般業務です。カット、カラー、パーマ、成人式や卒業式のヘアメイクやブライダルプロデュースも行っています。

多いときは一日に100人以上のお客様に来ていただいたこともあり、男女問わず来店いただけることは大変うれしいです。

うちの経営理念は、四つもあるんですよ。まず1つ目は「お客様に喜ばれる仕事を」、2つ目は「仕事を通じて人格向上



成人式当日のお店の様子

を目指す」、3つ目は「髪のことなら美容室大山悟と言われる店にする」、4つ目は「社員の幸福と会社の繁栄を目指す」です。お客様に喜んでもらえる仕事と云っても、技術だけではありません。人当たりも大事だし、お客様の悩みを聞きだす能力も大切。一歩間違えると自己満足にもなりかねない。お客様にあたたかい気持ちになってもらえるようなお店を目指しています。

**地域の人によるこんでもらえる  
お店を目指し続ける**

休日には外出したり、お店に出たりして、

### ◎ 会社案内

【創 業】昭和56年6月29日

【事業内容】美容室一般業務、フェイシャルエステ、ウエディング

【スタッフ数】9名

【定 休 日】天文館店/年中無休 カピーレ(荒田店)/月曜日

【営業時間】天文館店/10:00~20:00 カピーレ(荒田店)/9:00~19:00

【ひとことPR】

数々のコンテストで優勝・入賞した個性あるスタッフによる、ヘアショーを鹿児島キャバルボで開催。

多くの支持を得て現在に至っており、激戦区天文館店は、技術だけでなく、「オンリーワン」のおもてなしを目指し、日々改善に努めています。

さらに、お客様からの要望に多い「人前結婚式を天文館で」との声から、日本一の人前結婚式を目指し、挑戦していきます。

天文館の人の流れを見ているのですが、人通りは年々減ってきており、淋しく感じます。  
そこで、地域の方々が親しくなれるきっかけの場、語らいの場になれば...と考え、荒田の「カピーレ」という店舗で無料のヘアセットやメイクの講習を始めました。  
「プロの技術を身近で見たい・知りたい」とか「アドバイスが欲しい」など、お客様の疑問を解消します。美容やおしゃれに「興味のある方」どんどん参加していただきたいですね。

# '10 TALK

ジェイアール九州ビルマネジメント(株)  
南九州事業部 副部長・鹿児島営業センター長  
そのだ ゆうじ  
**園田 裕二** さん



●プロフィール 園田 裕二さん

1960年 鹿児島県霧島市生まれ  
1979年 鹿児島県立牧園高等学校卒業  
日本国有鉄道入社  
1987年 JRグループ各社・関係法人に分割民営化  
JR九州民営化後、福岡県、鹿児島県、  
宮崎県等で開発事業に携わる。  
2010年 鹿児島営業センター長就任

## 「鹿児島らしさ・魅力を発信」

### 九州新幹線全線開業に向けて

**Q** フレスタ鹿児島のリニューアルオープンの反響はいかがですか？

**A** おかげさまで、当初予想していた以上のお客さまにご利用頂き、賑わっております。リニューアル前の「フレスタかごしま」は、「鹿児島イコールお土産」というイメージが強く、観光のお客さま向けのショップが多かったのですが、リニューアル後は、「みやげ横丁十ぐるめ横丁+ビックカメラ、1F・2F生活関連ショップ」の組合せにより、鹿児島市内や近郊にお住まいの方々の需要も喚

起できたと考えております。

お土産と日常性の高い商品を取り揃えたテナントミックスになっておりますので、幅広い層のお客さまにご来店いただきたいと思いますね。

**Q** 九州新幹線全線開業に伴い、今後どのような取り組みを考えておられますか？

**A** 「フレスタ鹿児島」内のショップは

地元鹿児島の老舗、人気店を中心に構成しております。運営事務局としては、お客さまにご満足いただける接客や、ニーズを反映した商品の充実に力を入れていきたいですね。

実は、リニューアルオープン前は販促活動をほとんど実施していませんでしたが今回は、来年春の九州新幹線全線開業を見据え、「お土産ならフレスタ鹿児島のみやげ横丁、お食事ならぐるめ横丁」と言っていただけのように、販売促進やホームページ等での情報提供にも注力し、より一層鹿児島中央駅周辺

活性化に寄与したいと考えております。

**Q** フレスタ鹿児島の特徴とは？

**A** 「小回りの利く集団での運営」でしょう。8名という少数のスタッフではありますが、目配り、気配りをモットーにショップとの連携を密に図ることができています。

販売する商品は鹿児島をイメージしたのもや、鹿児島の食材を使ったものを扱っていただき、鹿児島らしさ、鹿児島の魅力を発信しようと取り組んでいます。

**Q** 出身地である鹿児島での仕事はいかがですか？

**A** 郷土の開発に携われるということにはなかなかないことなので、このようなチャンスをいただき、感謝致しております。

来年の九州新幹線全線開業という大波に向けて、どのような形で鹿児島からの情報発信をしていくかが大きな課題であり、楽しみでもあります。これからさまざまな工夫、提案を行いながらお客さまをお迎えする準備をしていきたいですね。

テーマは「鹿児島路面電車の見える風景」

観光と特産品の  
情報ステーション

# 写真コンテストに9作品



最優秀賞 有川さとみさん(霧島市) 「冬の華舞う」

観光と特産品の情報ステーション写真コンテストの審査会が2月12日に行われ、応募総数321点の中から9点の入賞作品が選ばれた。

同コンテストは鹿児島の新しい魅力を再発見し、広く情報発信することを目的として、観光と特産品の情報ステーション運営協議会が平成19年度から実施しているもので、今回のテーマは「鹿児島路面電車の見える風景」。

最優秀賞に有川さとみさん(霧島市)の「冬の華舞う」が選ばれたほか、優秀賞3点、優良賞5点が決定した。

なお、表彰式は2月24日に当商工会議所で行われた。



優秀賞 税所マリさん (鹿屋市)  
「笑顔の素敵な運転手さん」



優秀賞 大社正照さん (鹿児島市)  
『雪の降る街』



優秀賞 木元邦義さん (鹿児島市)  
「芝生を走る」

※全入選作品はかごしま観光と特産品の情報ステーションホームページで公開中。  
( <http://www.kagoshima-kanko-tokusanhin.com/> )